



絆づくり通信

2024年7月
NO. 92



少年の居場所づくり活動

4月の委嘱式から少し経ちましたが、若樫サポーターは積極的に活動してくれています。活動への参加募集をした際には、すぐに定員を超える応募があるなど、高い意欲を感じています。そんな若樫サポーターが参加した、居場所づくり活動の様子を紹介します。

農業体験（さつまいも・花の苗植え）



5月18日、四日市市の常磐交番前の畑・花壇にて、農業体験を行いました。活動の中で、若樫サポーターは少年たちとコミュニケーションをとろうと努め、「少しでも距離を縮めることができ良かった。今回の経験を次回に生かしたい。」と話していました。

卓球体験



5月25日、伊勢警察署にて、卓球体験を行いました。若樫サポーターは、少年たちと卓球などのスポーツに取り組み交流を深めました。「心を開いてくれるか心配だったが、近い年齢だからこそできる話題で盛り上がる事ができた。」と述べていました。

ダンス体験

6月16日、伊勢市生涯学習センター「いせトピア」にて、ダンス体験を行いました。講師に教えてもらいながら、少年たちと一緒にダンスを楽しみました。活動後には、「少年との距離感は難しいが、話しかけやすい雰囲気を作れるようにしていきたい。」と、今後への意欲を語っていました。



令和6年度若樫サポーター委嘱式・研修会（追加募集者対象）



三重県警察本部では、4月に若樫サポーターの追加募集を行い、応募していただいた学生の一人一人と面談をしました。そして6月23日、新しい仲間が若樫サポーターに加わりました。委嘱式・研修会に参加したサポーターは、「活動を通して、少しでも多くの子どもの安全を守ることができるようにがんばりたい。」と話していました。

三重県警察